

平成26年度 第2回みんなで支える森林づくり県民会議

開催日時：平成26年11月20日（木）12：30～16：30

開催場所：

【現地調査】信州の木活用モデル地域支援事業…
森林づくり推進支援金

里山利用総合支援事業 …

みんなで支える里山整備事業 …

飯山市 飯山駅合築都市施設(アトリウム)

【長野県木材青壮年団体連合会 北信木青連、飯山市】

飯山市 秋津区
【飯山市 秋津区長会】

【中野市岩井地区、飯山市其綿地区・
秋津地区】

【会 議】長野県北信合同庁舎 講堂

出席者：【委員】※五十音順、敬称略

植木達人委員(座長)、尾崎洋子委員、貴舟 豊委員、桑井裕至委員、
杉山紘子委員、滝澤栄智委員、浜田久美子委員、松岡みどり委員
以上8名出席

【事務局】

塩原 豊林務部長、小田切 昇森林政策課長、市村敏文信州の木活用課長、
前島啓伸森林づくり推進課長、春日嘉広県産材利用推進室長、
宮鳥獣対策・ジビエ振興室長 ほか林務部職員

現地調査等の状況

〈信州の木活用モデル地域支援事業、森林づくり推進支援金〉

飯山市 飯山駅合築都市施設(アトリウム)…【長野県木材青壮年団体連合会 北信木青連、飯山市】



飯山市山崎経済部長から取組状況の説明



新たな飯山駅に地域住民の力で設置された
県産材による木質化の視察状況



木の香る飯山駅アトリウムの状況



「森林税の活用」について木看板によるPR

〈里山利用総合支援事業（秋津区区長会）〉



秋津地区活性化センター山崎所長から取組状況の説明



地域の取組に対する質問の状況

〈みんなで支える里山整備事業（中野市岩井地区、飯山市其綿地区・秋津地区）〉



林業普及指導員から取組状況の説明



遠景から集落周辺の間伐の実施状況を視察

信州フォレストコンダクターの活動状況発表



信州フォレストコンダクター第1期生 広瀬健一氏



フォレストコンダクターの地域での活動状況の発表

みんなで支える森林づくり県民会議



みんなで支える森林づくり県民会議の状況



みんなで支える森林づくり県民会議の状況

会議

1 開会

<森林政策課 丸山課長補佐兼企画係長>

現場調査お疲れ様でございました。私、会議の進行を務めます森林政策課の丸山勝規でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本日は、堀越委員、麻生委員、牛越委員が都合により御欠席でございます。

また、長野朝日放送の菊地社長が交代され、新たな委員に「土屋英樹長野朝日放送代表取締役社長」が就任なされました。本日ご出席の向きの御報告をいただいておりますが、急遽ご欠席との御連絡がございましたので、御報告申し上げます。

それでは、会議の冒頭にあたりまして、塩原林務部長から挨拶を申し上げます。

2 あいさつ

<塩原林務部長>

委員の皆様には、たいへんお忙しいところ、本年度第2回目のみんなで支える森林づくり県民会議にご参集いただき、また、たいへんお寒い中で、森林税の取り組み状況につ

きまして現地調査いただきましたことに、感謝申し上げる次第です。

日頃からたいへん委員の皆様方には、森林税の進め方や検証についてご審議いただくことを通じまして、長野県の森林・林業施策を県民の皆様には御理解と御協力をいただけるよう、御支援を賜っておりますことに、改めてお礼申し上げます。

今年は紅葉の色づきも良く、よい秋となっておりますが、こちらの地域でもだいぶ寒くなり、いよいよ冬に向かっての準備がされるということで、とりわけ雪囲いのように長い歴史の中で生活と一体となった木の使われ方がなされている地域でございます。また、本日ご覧いただきました、飯山駅の新幹線の駅舎に隣接いたします施設への県産材利用のように、いよいよ本県の森林資源の充実によりまして、大勢の皆様が目を向ける施設にも県産材を使う時代になってきている様子を調査いただきました。さらに、地域主体の里山利用という観点など、森林税の第2期目の柱として位置づいている取り組みをご覧いただきました。地元の皆様方の力強いお話もいただきましたが、そのあたりも含めて委員の皆様方から県民税の成果の検証という視点でご意見をいただきたいと思っております。

また、本日は信州フォレストコンダクターの第1期生の栄村森林組合の広瀬さんに、地域における活動状況をお話いただく機会を設定させていただきましたので、皆様方にご意見いただければと思っております。

本日いただきましたご意見は、森林税の来年度の予算編成に反映させてまいりたいと思っております。

森林税のよりよい活用に向けまして、忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げ、簡単ではございますが、ごあいさついたします。よろしく願いいたします。

<森林政策課 丸山課長補佐兼企画係長>

続きまして、座長の植木委員からご挨拶をお願いいたします。

<植木座長>

どうも皆様ご苦勞様でした。さすがこの時期になりますと寒くなっておりまして、この時間帯相当冷えてきております。しかしながら、今日はなかなか良い現地検討会であったと思っております。私どもも木の活用の部分で勉強になりました。これからもこの森林税が、県下いたる所で活用できるように、県の皆様には地域の皆様とともにご尽力いただきたいと思います。

<森林政策課 丸山課長補佐兼企画係長>

ありがとうございました。事務局から御連絡させていただきます。本日の会議の議事録につきましては、県のホームページで公開させていただきますのでご了承いただきたいと思います。また、本日の会議の終了につきましては、概ね16:30を予定しております。

それでは、「会議事項」に入らせていただきます。この後の議事進行につきましては、県民会議設置要綱第5の2に基づきまして、座長をお願いしたいと存じます。

では、植木座長よろしく願いいたします。

3 会議事項

<植木座長>

それでは、私の方で議事を進めてまいりますので、よろしくお願いします。

県民会議の次第に沿って会議を進めます。4会議事項（1）信州フォレストコンダクターの活動状況について、信州フォレストコンダクター1期生であります広瀬健一さんに地域での活動の状況など発表していただきたいと思います。

その後で、広瀬さんを交えながら意見交換をしていきたいと思います。それでは広瀬さんよろしくお願いします。

（1）平成25年度みんなで支える森林づくりレポートについて

… 資料1

説明者：信州フォレストコンダクター 広瀬健一氏

- （1）昨年度の信州フォレストコンダクター研修内容と成果
- （2）栄村における森林・林業の取組状況
- （3）栄村における素材生産の今後の展開
- （4）その他の地域貢献活動

<植木座長>

広瀬さんどうもありがとうございました。それでは、広瀬さんと意見交換をしながら、フォレストコンダクターの良い点やこれからの期待すべき点などいろいろ議論していきたいと思います。

オーストリアにも行かれ、得てきたものを地域で実践している状況を発表していただきました。県としては平成25年度から毎年10名程度、27年度までに30人のフォレストコンダクターを育成していきたいということです。今年2年目で来年も継続し、このフォレストコンダクターがそれぞれ地域において、森林経営計画をはじめ森林資源の循環型システムを確立していく一つの契機となっていくものと私も期待をしております。

はい、杉山委員どうぞ。

<杉山委員>

根羽村森林組合で素材生産を行っている立場でお聞きしたいのですが、先ほど広瀬さんからオーストリアでの搬出状況のお話でしたが、伐採から搬出までどのような工程で40m³/日・人も生産しているのでしょうか。

<広瀬フォレストコンダクター>

先ほどパワーポイントで見ていただきましたプロセッサ一体型タワーヤーダのコンビマシンの使い、索張りは2時間で終わるということでした。スパンは100m程度。オート

チョーカー(自動荷外し機)を使いエンジン付きでリモコンで操作することで、ワンマンで全幹集材している状況でした。言えることは人工が少なく材はたくさん出るということで、ほぼ40m³/日・人の生産ができ、条件によって多い現場では100m³/日・人も搬出できる所もあるそうです。向こうではトラクタが主流ですが、急勾配の場所については、キャレッジ(搬器)にエンジンが付いている集材機を使うということで、架線系が進化している状況でした。

<植木座長>

尾崎委員さんどうぞ。

<尾崎委員>

第1回の県民会議で、私からフォレストコンダクターはどのような事をする方々なのかという質問をさせていただきましたが、広瀬さんのお話を聞いてよく理解できました。守備範囲について伺いますが、栄村森林組合に所属なされていますので栄村のみで活動していらっしゃるのか。これから30名を育成していくということですが、第1期生として広域で力を発揮していただければと思いますがいかがでしょうか。

<広瀬フォレストコンダクター>

この地域では、北信州森林組合、栄村森林組合があり、隣県には津南森林組合がございます。現在、間伐を主とした山の仕事については村内のみで行っております。逆に手が足りない時は協力会社のような形で、長野森林組合などからもお手伝いに来ていただいております。当組合にも組合員さんは大勢おりますので、村内の組合員所有林の間伐を進めることで精一杯な状況でございます。

<植木座長>

どうぞ浜田委員さん。

<浜田委員>

フォレストコンダクターは3年間の計画で育成しているわけですが、森林税を活用してコンダクターになられた率直な感想として、このような点は良かった、このような点は使い勝手が悪い、さらにこのような点を改善すれば実りが多いというような、ご意見がありましたらお聞かせいただきたいと思います。

<広瀬フォレストコンダクター>

フォレストコンダクター研修の中で、オーストリア含めて東北三県、北海道など、地域の抱える課題として木質バイオマス関係を中心に視察をさせていただきました。これらは、

通常業務の中ではとても考えられないような貴重な体験でありました。また、長野市、塩尻市の林業総合センターで講師を招いて講話や討議をする中で、自分の中でいろいろ考えさせられることが多くあり、その点は非常にありがたかったと思っております。ただ現在私も現場を含めて非常に多忙でありまして、冬期間などシーズンオフあるいは夜間など業務時間外であれば、参加しやすいと思ったところでございます。後はとてもよい事業だと思っております。

＜浜田委員＞

昨年、広瀬さんがフォレストコンダクターになられて今年2年目で、同期の方々との連携や仲間になられたことで発展性のある関係になった等はありましたでしょうか。

＜広瀬フォレストコンダクター＞

同期のコンダクターとは情報交換などは続けております。例えば業務の異なる原木市場の方との情報交換により地域の課題にもつなげていっております。

＜植木座長＞

まだまだお聞きしたい点があるかと思いますが、時間の関係で意見交換はこのあたりで終了したいと思います。事務局からコメントありましたらどうぞ。

＜市村信州の木活用課長＞

今週の月曜、火曜日とフォレストコンダクターの今年4回目の研修があり、研修の中で本年度研修生9人と1期生7人のフォレストコンダクターと各地方事務所、信州の木活用課の職員で、問題点や今後の方向などの意見交換を行いました。またその後、2期生の発表会を開催し1期生の皆さんからご意見をいただきました。このようなことで1期生と2期生とのつながりや他のコンダクターとの連携を図っておりまして、来年度も引き続き行っていきたいと考えております。具体的な取り組みの事例といたしましては、木曽管内で国有林と民有林が連携しフォレストコンダクターも入りまして、地域で10万m³の木材生産の計画樹立を進めております。また、松本と北安曇のフォレストコンダクターが連携し、長野県の木で家づくりを進めようという地域テーマの基、木材加工業、工務店、設計士、施主を結ぶ役割を果たしております。その他に本日の広瀬さんのお話にもありましたが、栄村森林組合、長野森林組合のフォレストコンダクターが連携し、そこに北信州森林組合も入りまして、木質バイオマス発電所への材料供給の協定を締結する取り組みや、中国への木材輸出も進めているところで、よい方向に動き出し始めたと認識しております。

私からこの間の会議の折にフォレストコンダクターの皆さんに申し上げましたが、皆様の育成に対しましては森林税を活用させていただいていることから、事業体の中のみで技術を活かすことも大切ですが、肝は地域にいかに出て地域の森林・林業を指揮していく

ことが、フォレストコンダクターの役目であることを認識していただきたいというお願いをいたしました。

＜植木座長＞

広瀬さんどうもありがとうございました。これからも地域林業の発展のため、どうかご尽力いただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、次の議題であります「平成 26 年度森林税活用事業の概要と進捗について」事務局から時間の関係もありますので簡潔に説明願います。

（２）平成 26 年度森林税活用事業の概要と進捗について

… 資料 2

説明者：森林政策課 丸山課長補佐兼企画係長

＜植木座長＞

どうもありがとうございました。この資料はすでに事前に委員の皆さんにお送りいたしており、目も通していただいておりますが、本日の現地調査も踏まえてご質問いただければと思います。

まずは私から口火を切りたいと思いますが、私が気になるのは水源林の公有林化支援事業です。この事業は毎回毎回議論になっておりますが、予算額が約 1,000 万円という中で、今年もなかなか要望が上がってこない状況で、補助金額が 400 万円程度という形になっております。これ以上増えることはなく、昨年度もそうですが大幅に予算を下回る状況であると資料を見て思いますが、このあたりの状況を教えていただきたいと思っております。

＜小田切森林政策課長＞

水源林の公有林化の取り組みは平成 25 年度よりスタートし 2 年目を迎えているところですが、植木座長からのご指摘のとおり、今年度は 3 市村からの要望がございまして進めているところですが、進捗につきましては木祖村が実施している状況でございます。昨年 2 年目を迎え、実態等をお聞きいたしますと、所有者との交渉の途中で所有権が明瞭でない等、公有林化のエリア確定や所有者界の確定が必要であるなど支障があり、時間的にも年度内では実施が困難であることから、実績が上がってこない状況にありまして、予算ベースに届かないところでございます。いずれにいたしましても、導入を検討している市町村も多くありますので、当初の事業目的である水源林の適正な管理が進みますよう、市町村等にこの事業の活用などについて、積極的にお話してまいりたいと考えております。

＜植木座長＞

どうもありがとうございました。まだ、2 年目ですので課題も多くあろうかと思っておりますが、一つ一つ解決していく中で予算に対して充足するよう務めていただきたいと思っております。

どうぞ、滝澤委員。

<滝澤委員>

本日現地を見させていただきました「里山利用総合支援事業」についてですが、地域の方々が中心となって、里山整備や炭焼きをテーマに小学生などで行う取り組みで、長い目で見れば地域の子供たちが山に対する関心を高めていく、とても良いことでありますし、ぜひこのような取り組みは続けていってほしいと感じました。

本日お配りいただきました、「長野の林業」の4ページに「森林山村多面的機能対策事業」が載っておりますが、この事業内容を見ますと荒れた山林の整備による景観維持や獣害対策のための森林整備、荒廃竹林整備などの内容になっておりますが、この国の事業と森林税の里山利用総合支援事業を一緒にすることや森林税でかさ上げする等して、このようなすばらしい取り組みの充実を図ることができないかを伺いたいと思います。

<植木座長>

事務局お願いいたします。

<市村信州の木活用課長>

委員おっしゃるとおり、森林山村多面的機能対策事業は国の事業でございまして、とても取り組みやすい事業でございまして積極的に導入していただけるよう地域にはたらきかけているところでございます。森林税で取り組んできた事業は今年で終わる予定でございますし、この国の事業も充実していくというお話もございまして、今後も国の事業を積極的に導入しながら、継続して地域の森林資源を活用した取り組みにより、地域を盛り上げていければと考えているところでございます。そのような中で、県といたしましては、森林税の取り組みを里山の整備や資源活用がリードできる「人づくり」にターゲットを絞って、次のステップの里山対策を行っていきたいということで、現在検討を重ねているところでございます。

<植木座長>

よい事業であると私も思いますので、ぜひ活用が進みますよう取り組んでもらいたいと思います。はい、浜田委員さんどうぞ。

<浜田委員>

本日、現地調査を行いました飯山市のそれぞれの取り組みですが、森林税を有効に使われ、森林税を使ったことによる今後の可能性が見える事例であったと感じました。これらは端的に言って、応募されている事業や地域の取り組みのレベルが上がってきているものなのか、それとも採択の仕方が慣れてきて、良い取り組みを採択できるようになったのか、そのあたりはいかがでしょうか。

<植木座長>

事務局お願いいたします。

＜春日県産材利用推進室長＞

先ほどご覧いただきました飯山駅での取り組みの関係ですが、第1回目の県民会議でいただきました委員の皆様からのご意見を反映する中で、県庁と地方事務所、地方事務所と事業主体等とのやりとりを綿密に行い、お互いにアドバイスしていく中でブラッシュアップしてきたものと思っております。モデル事業につきましては、県民会議や地域会議のご意見などを反映することが定着してきたということと、今年2年目となり全体的なレベルがだんだん上がってきている感触を得ております。

＜植木座長＞

はい、貴舟委員さんどうぞ。

＜貴舟委員＞

飯山市の秋津地区の取り組みですが、多くの地域の子供たちや社会福祉協議会が関わったということで驚きがありました。子供たちが関わりといたしますとどうしても教育委員会の野外学習が頭に浮かびますが、社協の方々が子供たちの受け皿となることやその取り組みを進めるといった関わり方もあるのだなと感心しました。現在、引きこもりや不登校などの子供たちはたくさんいる状況の中で、このような活動が子供たちの成長に助けになればすごく良い取り組みであると感じました。それからもう1点ですが、現地で説明をしていただいた方々が、作業道があれば木材の搬出がもっとできるという希望を言っておられました。この事業はとても良い取り組みですので、ぜひ作業道も付けられる方法も考えてあげられたら、展開が広がっていくのではないかと思います。

＜植木座長＞

はい、桑井委員さんどうぞ。

＜桑井委員＞

先ほどのフォレストコンダクターのお話の中で、販路開拓の面でご苦労されていると感じました。出てきた材をいかに市場に出していくかという点は研修等を通じて学ばれているかとは思いますが、販路開拓といった部分を人材育成という観点からしっかり身につけていただきたいですし、研修分野としても充実しなければいけないと考えます。そのような面を充実することで、もっとフォレストコンダクターの活動の幅も広げることができるものと思います。

＜植木座長＞

はい、市村課長さんどうぞ。

＜市村信州の木活用課長＞

現在、フォレストコンダクターの研修の中で、木材以外の流通の関係企業の社長に講師になっていただき、広く流通を見る目を養っていくカリキュラムも実施をしている状況で

ございます。また、意見交換会の中で、大規模流通の部分はコンダクターとして手をつけていく必要はなく、全体を見て隙間を探していかに高く地域の木材を売るかという点にしっかりと目を向けて取り組んでいきたいという意見が出ておりました。今後も流通を含めた幅広い目で見えて行動できるよう、人材育成を進めていきたいと考えております。

＜植木座長＞

はい、ありがとうございました。松岡委員さんどうぞ。

＜松岡委員＞

先ほどの広瀬さんのお話で、様々なこれからの課題もあるというお話がございましたが、やはり地域材というのは地域でいかに活用できるかがこれからのポイントだと思っています。これは森林組合だけではできないわけで、工務店とかそこに暮らす人々など様々な人々との連携が無くてはいけなくて、また、それを変えていくためには行政の働きが必要でありますので、いろいろな人々と知恵を出しながら取り組んでいただきたいと思います。

＜植木座長＞

はい、どうもありがとうございました。時間となりましたのでこのあたりで意見交換会を終了させていただきたいと思っております。本日の現場調査でのご意見、それから今出ました様々な意見等を事務局の方でまとめていただいて、今後の森林税の活用を活かしていただきますようよろしくお願いいたします。

事務局の方から何かありますか。

＜森林政策課 丸山課長補佐兼企画係長＞

1点御連絡させていただきます。第3回の県民会議の開催につきましては、2～3月に開催したいと計画しております。追って日程のご相談をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

＜植木座長＞

以上をもちまして、全ての議事を終了させていただきます。どうも御協力ありがとうございました。

4 閉会

＜森林政策課 丸山課長補佐兼企画係長＞

ご進行いただきました植木座長、長時間ご審議いただきました委員各位の皆様、また、広瀬フォレストコンダクター様に、塩原林務部長から御礼を申し上げます。

＜塩原林務部長＞

委員の皆様には、広くご意見、ご提案いただきましてありがとうございました。本日は

森林税を有効に活用してそれぞれの地域で活発な活動をしていただいた、地域の様子もご覧いただきました。また、信州フォレストコンダクターの第1期生の広瀬さんにも、現在の取り組みやフォレストコンダクターとしてのこれからの決意などもご発表いただきありがとうございました。

全国植樹祭があと1年半で開催されるわけですが、その考え方の一つに、『「植えて育てて使って、また植える」という林業のサイクルを県民の皆さん全体で取り戻そう』ということが大きなテーマになっております。そうした点でも先ほどからお話があります森林税を活用させていただいて、県民の皆様と一緒に長野県の森林・林業・木材産業が、これから大きく成長していけるように、行政としても進めて参りたいと思っておりますので、ぜひ次回の県民会議の折にも、県民の皆様方の目線で広くご意見をいただきますようよろしくお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

<森林政策課 丸山課長補佐兼企画係長>

ありがとうございました。本日ご議論いただいた内容につきましては、後日、皆様にお送りし、ご確認いただいた後に、長野県の公式ホームページに掲載させていただきます。

以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。お気を付けてお帰りください。

【了】